



❀ お知らせ ❀

インフルエンザワクチン接種のシーズンになりました。

季節によって罹患するインフルエンザは、11月～12月頃に流行が始まり、1月～3月がピークになります。

ワクチンを接種してから、各人によりますが、2週間から4週間で抗体が出来ます。

12月中旬までのワクチン接種を厚生労働省では推奨しています。

対象: 高校生以上

※未成年(20歳未満)の方は親御さんの同意が必要です。

ワクチン代 **3,100円 (税込)**



神奈川歯科大学附属 横浜クリニック
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-31-6
TEL:045-313-0007(代) FAX:045-313-0027(代)

Mail:chiiki-irenkei@kdu.ac.jp
http://www.hama.kdu.ac.jp

次のページから
市民公開講座
のお知らせ 🐾





市民公開講座

『ピロリ菌のはなし』

平成 26 年

【受付開始】 13 : 30

10/25 (土) 【講演開始】 14 : 00 ~ 15 : 00

講演者：渡邊浩之 医師

神奈川歯科大学附属横浜クリニック 副院長 (医科部門長)

会 場：神奈川歯科大学附属横浜研修センター 6F 教室

参加費：無料

申 込：事前申込不要 どなたでも当日直接会場へお越し下さい

問合せ：神奈川歯科大学附属横浜クリニック 地域医療連携室

電話・FAX 045-313-5047 (直通)

ホームページ <http://www.hama.kdu.ac.jp>



今まで健康保険によるピロリ菌の除菌治療は胃十二指腸潰瘍などの病気に限られていましたが、今年4月から慢性胃炎にも適応が拡大されました。ピロリ菌に感染すると胃の粘膜に炎症がおき、炎症が長く続くと慢性胃炎となります。そして慢性胃炎を持っている人の一部に胃がんを発生します。1994年にWHO（世界保健機構）はピロリ菌を「確実な発癌因子」と認定しました。これは肺がんの発癌因子とされているたばこやアスベストなどと同類になります。2001年胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎などの患者さんを対象とした調査で、10年間で胃がんになった人の割合はピロリ菌に感染していない人では0%（280人中0人）、ピロリ菌に感染している人では2.9%（1246人中36人）でした。また、日本で胃十二指腸潰瘍の90%にピロリ菌感染がみられますが、ピロリ菌の除菌をすると胃潰瘍では再発率は11.4%、十二指腸潰瘍では6.8%と非常に少なくなります。今回の私どもの企画を通してピロリ菌に対する理解を深めていただければ幸いです。



市民公開講座

『糖尿病による目の病気』

～糖尿病と診断されたら～』

平成 26 年

【受付開始】 13 : 30

11/8 (土)

【講演開始】 14 : 00~15 : 00

講演者：市邊義章 眼科診療科長・眼科学教授
神奈川歯科大学附属横浜クリニック 眼科



会 場：神奈川歯科大学附属横浜研修センター 7F大会議室

参加費：無料

申 込：事前申込不要 どなたでも当日直接会場へお越し下さい

問合せ：神奈川歯科大学附属横浜クリニック 地域医療連携室
電話・FAX 045-313-5047 (直通)
ホームページ <http://www.hama.kdu.ac.jp>

糖尿病は我が国において中途失明原因の上位に位置する重要な病気です。

この病気に関わってきていつも感じることは「もう少し早く眼科に来ていたら。」という思いです。

これには大きな理由が二つあります。まず糖尿病による目の合併症は初期にはほとんど自覚症状がないこと、そして2番目は片方の目が良いと、もう片方に病気が発症しても気づかないことが多いことが挙げられます。

今回は「めの構造」、「見えなくなってしまうしくみ」や「眼科医が行っている検査」、そして「糖尿病の目の合併症」に関してお話ししたいと思います。本講演が皆様の視力低下の予防に少しでもお役にたてれば幸いです。



市民公開講座

『花粉症シーズンをむかえて

目と鼻のアレルギーのはなし』

平成 26 年

12/20 (土)

【受付】 13 : 30

【講演】 14 : 00 ~ 15 : 00

講演者：原直人 医師

神奈川歯科大学附属横浜クリニック 眼科 特任教授
国際医療福祉大学保健医療学部視機能療法学科教授

荒木康智 医師

神奈川歯科大学附属横浜クリニック 耳鼻咽喉科 特任講師
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 耳鼻咽喉科
慶應義塾大学病院 耳鼻咽喉科 非常勤講師

会 場：神奈川歯科大学附属横浜研修センター 7F大会議室

参加費：無料

申 込：事前申込不要 どなたでも当日直接会場へお越し下さい

問合せ：神奈川歯科大学附属横浜クリニック 地域医療連携室
電話・FAX 045-313-5047 (直通)
ホームページ <http://www.hama.kdu.ac.jp>



花粉症シーズンになると一番こまるのは目と鼻の症状ではありませんか？

また、自分が花粉症であるかどうか迷いませんか？

当院で診療している目と鼻のそれぞれの専門医が、花粉アレルギーはなぜ起こるのかを中心に、診断と治療を含めた対処方法をお話しします。